



REAL ESTATE DX
FUTURE CONFERENCE
**不動産DX
未来会議
2024**

協賛企業様 (敬称略)

ゴールドスポンサー



ベーシックスポンサー



- 主催・実行事務局／不動産DX未来会議実行委員会
- 協力／一般社団法人日米不動産協力機構・一般社団法人Metaverse Japan・関係省庁、大学等 (予定)
- スポンサー候補／上場不動産会社各社・非上場中小不動産会社等
- 参加申込／不動産DX未来会議実行委員会 事務局担当杉浦宛 e-mail: sugiura.remirai@gmail.com
〒106-0045 東京都港区麻布十番1-5-10アトラスビル4階
TEL: 03-6262-5347 FAX 050-3383-1391

REAL ESTATE DX
FUTURE CONFERENCE

不動産DX 未来会議

2024

市場の未来を共に創る

テクノロジーとコミュニティが拓く未来

Future Opened by Technology and Community



日米の共同連携が生み出す 不動産DXの新時代

概要

本会議は、不動産市場におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)と現在の課題に焦点を当て、未来の方向性を模索し、様々なステークホルダーとの連携・協業により新しい未来のビジネスチャンスを創り出す機会を提供します。オンラインではなく対面での闊達な議論と情報共有を目的とします。

目的

不動産業界・デジタル業界の専門家、新しい分野に関心のある事業会社の皆様一堂に会し、不動産DXの未来の方向性と課題の解決策を探求する。対面によるコミュニケーションを通じた新たなビジネスチャンスと不動産業界のイノベーションを創出する。
全6回半年間を同じメンバーで会議する事により、最終的に不動産DXに関する施策提言を会として取りまとめる事を視野に入れます。

対象者

国内外不動産会社、
関連業種のプロフェッショナル

日程

2024年1月23日から2024年6月18日までの合計6回

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ■ 第1回 1月23日(火) 16時~18時20分(懇親会開催) | ■ 第2回 2月20日(火) 16時~18時20分 |
| ■ 第3回 3月19日(火) 16時~18時20分(懇親会開催) | ■ 第4回 4月23日(火) 16時~18時20分 |
| ■ 第5回 5月21日(火) 16時~18時20分 | ■ 第6回 6月18日(火) 16時~18時20分(懇親会開催) |

会場

第二議員会館(千代田区永田町)
終了後、懇親会近隣レストランで開催(3回開催予定)

座長



Masayuki Nakagawa

中川 雅之

1961年秋田県生まれ、日本大学経済学部教授。1984年京都大学経済学部卒業、経済学博士(大阪大学)、1984年建設省入省後、大阪大学社会経済研究所助教授、国土交通省都市開発融資推進官などを経て、2004年から現職、主な著書、論文に『都市住宅政策の経済分析』(2003年、日本評論社、第46回日経・経済図書文化賞、2003年NIRA大来政策研究賞)、『公共経済学と都市政策』(2009年、日本評論社)がある。

総合司会



Manami Sasaki

佐々木 真奈美

日経CNBCのマーケットキャスター、元TBS NEWSキャスターとして報道番組司会などを担当。2016年渡米、ノースカロライナ大学チャペルヒル校客員研究員、ニューヨークロイター通信社で経済ニュースのアンカーやリポーターを担当。日米で過去1,500人のビジネスパーソンや起業家等のなどをビジネストーフスキル指導の実績がある。

第1回

生成AIの新たな可能性と未来

〈日時〉2024年1月23日 16:00~18:20

本セッションでは、AI技術、特に生成AIの進化が不動産市場及び不動産業界に今後どのような影響及び利便性を及ぼすかを探求します。生成AIの活用例としては、不動産価格の予測、顧客のニーズに合

わせた物件提案、市場動向の分析などが考えられます。これにより、不動産業界はより効率的な市場分析、顧客サービスの向上、そして新たなビジネスモデルの創出につながる可能性があります。

- 【挨拶】中川 雅之 日本大学経済学部教授/日米不動産協力機構(JARECO)代表理事
長田新子 一般社団法人Metaverse Japan代表理事・渋谷未来デザイン理事・事務局長
SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYAエグゼクティブプロデューサー共同 代表理事
- 講演 馬淵 邦美 一般社団法人Metaverse Japan 共同代表理事
- 講演 三宅 陽一郎 東京大学生産技術研究所特任教授 他
- ファシリテーター 小宮 昌人 産業革新投資機構JICベンチャー・グロース・インベストメンツ プリンシパル/イノベーションストラテジスト/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 研究員
- パネル・ディスカッション 馬淵・三宅・小宮・中川

会議参加者 懇親会開催 (18:45~20:45)

Lawry's「FRANK BAR」 <https://lawrys.jp/pages/frank-bar>

東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR3F(溜池山王14番出口直結)ビュッフェ&飲み放題

Kuniyoshi Mabuchi

馬淵 邦美

一般社団法人 Metaverse Japan 共同 代表理事

2009年:世界No2広告代理店グループのオムニコムのデジタル・エージェンシーTribal DDB Tokyo ジェネラル・マネージャーに就任。

●2012年:WPPグループである世界No1広告代理店オグルヴィ・ワン・ジャパン、ネオ・アット・オグルヴィの代表取締役役に就任。

●2016年:オムニコム・グループのNo1PRエージェンシーであるフライシユマン・ヒラード SVP&Partner。

●2018年:Facebook Japan Director / 執行役員に就任。

●2020年より株式会社 松尾研究所パートナー。



Yoichiro Miyake

三宅 陽一郎

ゲームAI開発者。博士(工学)。東京大学生産技術研究所特任教授、立教大学大学院人工知能科学研究科特任教授、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所客員教授。デジタルゲーム/スマートシティ/メタバースの人工知能が専門。人工知能学会編集委員会副委員長、IGDA日本SIG-AIチェア、日本デジタルゲーム学会理事。著書に『人工知能のための哲学塾』『人工知能のための哲学塾 東洋哲学篇』(ビー・エヌ・エヌ新社)、『人工知能の作り方』『ゲームAI技術入門』(技術評論社)、『なぜ人工知能は人と会話ができるのか』(マイナビ出版)、『戦略ゲームAI解体新書』(翔泳社)など多数。共著に『絵でわかる人工知能』(SBクリエイティブ)、『高校生のための ゲームで考える人工知能』(筑摩書房)、『ゲーム情報学概論』(コロナ社)、『FINAL FANTASY XVの人工知能』(ポーンデジタル社)など多数。監修に『最強囲碁AI アルファ碁 解体新書』(翔泳社)、『マンガでわかる人工知能』(池田書店)、『C++のためのAPIデザイン』(SBクリエイティブ)等がある。



Shinko Osada

長田 新子

一般社団法人MetaverseJapan 代表理事/一般社団法人渋谷未来デザイン 理事・事務局長/一般社団法人シブヤ・スマートシティ推進機構 理事

AT&T、ノキアにて通信・企業システムの営業、マーケティング及び広報責任者を経て、2007年にレッドブル・ジャパンに入社。コミュニケーション統括責任者及びマーケティング本部長(CMO)として10年半、エナジードリンクの 카테고리確立及びブランド・製品を市場に浸透させるべく従事し2017年に退社。2018年から渋谷区にて設立された渋谷未来デザイン理事・事務局次長として、都市の多様な可能性をデザインするプロジェクト活動を推進。渋谷5Gエンターテイメントプロジェクトによる渋谷区公認「バーチャル渋谷」の立ち上げから運営にも携わり、バーチャルハロウィン企画は第7回JACEイベントアワード、最優秀賞(経済産業大臣賞)(2020年度)を受賞。同時に、NEW KIDS(株)代表としてマーケティング・PR関連のアドバイザーやマ



ケターキャリア協会理事及び女性複業支援企業等でキャリア支援活動も積極的に行う。著書に「アスリート×ブランド 感動と興奮を分かち合うスポーツシーンの作り方」(宣伝会議/2020年)、渋谷未来デザイン編・著書として「変わり続ける! シブヤ系まちづくり」(工作舎/2021年)。



ファシリテーター
Masahito Komiya

小宮 昌人

第2回 3D技術と不動産市場における未来展望: リアルと仮想が融合する新たな拡張世界

〈日時〉2024年2月20日 16:00~18:20

近年急速に進化する3D技術の活用、アップル社が2024年2月に新たに市場に投入する空間コンピューター「Vision Pro」の出現等により、不動産市場及び不動産業界では物件のプレゼンテーションや顧客体験に革新がもたらされる可能性があります。バーチャルリアリティを使った物件見学、3Dモデリングによる建築計画の視覚化、都市開発プロジェクトのシミュレーションなどが可能になり、物件の魅力をよりリアルに伝える事が可能となり、顧客の購入決定の促進に繋がることが期待されます。

- 基調講演 豊田 啓介 東京大学生産技術研究所 特任教授/建築家
- 講演 小宮 昌人 産業革新投資機構JICベンチャー・グロース・インベストメンツ プリンシパル/イノベーションストラテジスト/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 研究員
- 講演 玉城 絵美 H2L, Inc., CEO/琉球大学工学部 教授
- ファシリテーター 谷山 智彦 野村総研未来創発センター デジタルアセット研究室長
- パネル・ディスカッション 豊田・小宮・玉城・谷山



Keisuke Toyoda
豊田 啓介 基調講演

1972年、千葉県出身。1996~2000年、安藤忠雄建築研究所、2002~2006年、SHoP Architects(ニューヨーク)を経て、2007年より東京と台北をベースに建築デザイン事務所noizを蔡佳萱と設立、2016年に酒井康介が加わる。2020年、フルシャワ(ヨーロッパ)事務所設立。2017年、「建築・都市×テック×ビジネス」をテーマにした領域横断型プラットフォームgluonを金田充弘と設立。コンピューショナルデザインを積極的に取り入れた設計・開発・リサーチ・コンサルティング等の活動を、建築やインテリア、都市、ファッションなど、多分野横断型で展開している。2025年大阪・関西国際博覧会 誘致会場計画アドバイザー(2017年~2018年)。建築情報学会副会長(2020年~)。大阪コモングラウンド・リビングラボ(2020年~)。2021年より東京大学生産技術研究所特任教授。

Masahito Komiya
小宮 昌人

日立製作所、デロイトトーマツコンサルティング、野村総合研究所を経て現職。22年8月より官民ファンド産業革新投資機構(JIC)グループのベンチャーキャピタルであるJICベンチャー・グロース・インベストメンツ(VGI)のプリンシパル/イノベーションストラテジストとして大企業を含む産業全体に対するイノベーション支援、スタートアップ企業の成長・バリューアップ支援、産官学・都市・海外とのエコシステム形成、イノベーションのためのルール形成などに取り組む。また、22年7月より慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科 研究員としてメタバース・デジタルツイン・空飛ぶクルマなどの社会実装に向けて都市や企業と連携したプロジェクトベースでの研究や、ラインビルダー・ロボットSlerなどの産業エコシステムの研究を行っている。また、デザイン思考を活用した事業/DX戦略策定に取り組む。専門はデジタル技術を活用したビジネスモデル変革(プラットフォーム・リカーリング・ソリューションビジネスなど)、デザイン思考を用いた事業創出(社会課題起点)、インダストリー4.0・製造業IoT/DX、産業DX(建設・物流・農業など)、次世代モビリティ(空飛ぶクルマ、自動運転など)、スマートシティ・スーパーシティ、サステナビリティ(インダストリー5.0)、データ共有ネットワーク(IDSA、GAIA-X、Catena-Xなど)、ロボティクス、デジタルツイン・産業メタバース、エコシステムマネジメント、イノベーション創出・スタートアップ連携、ルール形成・標準化、デジタル地方事業創生など。



ファシリテーター
Tomohiko Taniyama
谷山 智彦

Emi Tamaki
玉城 絵美

所属:H2L, Inc., CEO(2021年03月~)/琉球大学工学部教授(2021年04月~)/学位:博士(学際情報学)2011年11月-略歴人間とコンピュータの間の情報交換を促進することによって、豊かな身体経験を共有するBodySharing(ボディシェアリング)とHCI研究とその普及を目指す研究者兼起業家。2011年にコンピュータからヒトの動作を伝達する装置「PossessedHand(ボゼストハンド)」を発表。分野を超えて多くの研究者に衝撃を与え、CNNやABCでの報道、米Time誌が選ぶ50の発明に選出。同年には東京大学にて総長賞受賞と同時に総代をつとめ博士号を取得、2012年にH2L, Inc.を創業。2013年より早稲田大学人間科学学術院助教。2015年にKickStarterにて世界初触感型コントローラ「UnlimitedHand(アンリミテッドハンド)」を発表し22時間で目標達成。内閣府総合科学技術・イノベーション会議にて総合戦略に関する委員も務める。2017年より早稲田大学創造理工学研究科准教授。新たなBodySharingの研究プロダクトである「FirstVR(ファーストブイアール)」は、NTTDコム5Gとの連携を2019年に発表。2020年にはホログラムで遠隔地に出動する「HoloD(ホロディ)」を発表し、多数の企業でトライアルが始まっている。同時に、研究ではHCIの国際会議AugmentedHuman(オウグメンテッドヒューマン)にて、近年で最も推奨される研究論文として表彰される。2021年04月より琉球大学工学部教授。PossessedHand, UnlimitedHand, FirstVR, HoloDは、基礎から応用まで多くの研究者に利用されると同時に、BodySharingサービスへと展開している。



第3回 3メタバース(3D)の現在と未来: 仮想空間での価値創造

〈日時〉2024年3月19日 16:00~18:20

2022年より特に若者と中心に全世界的に普及するメタバースは、今後AI及び3D技術との連携により、仮想空間における不動産概念や不動産取引を再定義すると考えられます。具体的にはメタバース内での不動産取引、バーチャルオフィスやイベントスペースの提供などが想定されます。不動産業界として、物理的な空間だけでなく、仮想空間における不動産の開発、管理、販売といった新しいビジネス機会を創出する事は今後のビジネスにおいても重要となり、新しい顧客層の獲得や新しい市場の創出が期待されます。

- 基調講演 稲見 昌彦 東京大学総長特任補佐・先端科学技術研究センター副所長/教授
- 講演 加藤 直人 クラスタ株式会社代表取締役 CEO
- 講演 せきぐち あいみ 株式会社 MUSOU 代表取締役社長
- 講演 山本 英一郎 株式会社 SHIBUYA109 エンタテインメント 執行役員
- ファシリテーター 長田新子 一般社団法人渋谷未来デザイン理事・事務局長/SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA エグゼクティブプロデューサー
- パネル・ディスカッション 稲見・加藤・せきぐち・山本・長田

会議参加者 懇親会開催(18:45~20:45)
TOKYO NODE CAFÉ <https://www.tokyonode.jp/about/cafe/>
東京都港区虎ノ門二丁目6番2号虎ノ門ヒルズ ステーションタワー8F ビュッフェ&飲み放題



Masahiko Inami
稲見 昌彦 基調講演

東京大学 総長特任補佐 先端科学技術研究センター 副所長・教授/システム情報学/計数工学/先端表現/VRセンター お茶の水女子大学教授/慶大客員教授/IPA未踏PM/情報処理学会理事・フェロー/VR学会理事・フェロー・IVRC実行委員長/日本学術会議連携会員/工学アカデミー会員/JIZAI/commisurre

Naoto Katio
加藤 直人

クラスタ株式会社 代表取締役CEO

京都大学理学部で、宇宙論と量子コンピュータを研究。同大学院を中退後、約3年間のひきこもり生活を過ごす。2015年にVR技術を駆使したスタートアップ「クラスタ」を起業。2017年、大規模バーチャルイベントを開催することのできるVRプラットフォーム「cluster」を公開。現在はイベントだけでなく、好きなアバターで友達と集まったりオンラインゲームを投稿して遊ぶことのできるメタバースプラットフォームへと進化している。2018年経済誌『ForbesJAPAN』の「世界を変える30歳未満30人の日本人」に選出。同じく2022年、2023年には「日本の起業家ランキング」のTOP20に2年連続で選出。著書に「メタバース さよならアトムの時代」(集英社/2022年)



せきぐちあいみ

VRアーティスト
2016年からVR空間に3Dの絵を描くアーティストとして活動。アート制作やライブペイントオフナーを世界各国から受ける。(USA, Germany, France, Russia, UAE, Singapore, Thailand, and Malaysia.)
メタバース上に開かれた個展会場には世界中から多くの人が訪れ、ヴェネチア国際映画祭のVR部門に選出される。
2021年3月NFTアートの展開を始め、初出品が約1300万円で落札され話題となる。その後の作品も全て即完売している。
2021年「Forbes Japan 100」に選出される。



Eiichiro Yamamoto
山本 英一郎

株式会社SHIBUYA109エンタテインメント 執行役員 ソリューション事業部長 兼 企画戦略部長

2000年に東京急行電鉄(株)(現・東急(株))入社。東急沿線の商業物件の運営や渋谷スクランブルスクエアの開発担当を経て、2017年に(株)SHIBUYA109エンタテインメントの設立とともに同社に出向。現在は、若者と企業を繋ぐ「若者ソリューション事業」の責任者として、メタバース・NFT事業も管掌。



ファシリテーター
Shinko Osada
長田 新子



第4回 デジタルツインによる都市再生とイノベーション～建築・都市のDX

〈日時〉2024年4月23日 16:00～18:20

国土交通省が推進する「建築・都市のDX」政策担当として同省から「不動産ID」「建設BIM」「3D都市モデルPLATEAU(プラトー)」の各担当課より登壇をいただき、国の政策の現在と未来について解説、ディスカッションを行う機会となります。デジタルツインは、物理的な建物や都市をデジタルで正確に

複製する技術であり、これにより、都市計画、建物の設計、建設、管理がより効率的かつ正確に行われます。また、都市の持続可能性や災害対策においても重要な役割を果たすことが期待され、不動産業界における新たなビジネスチャンスを生み出す可能性があります。

国土交通省より

●建設経済局不動産市場整備課(不動産ID) ●住宅局建築指導課(建設BIM) ●都市局都市政策課(PLATEAU)

の3組が登壇予定。国が推進する「建築・都市のDX」をテーマとした会議となります。

パネルディスカッション・ファシリテーター 未定

第5回 テクノロジーとデータ活用による新たな不動産ビジネスのチャンス

〈日時〉2024年5月21日 16:00～18:20

本セッションでは、ブロックチェーン、IoT、ビッグデータ(不動産ID、登記情報等)などの新技術をどのように不動産業界に応用し、新たなビジネスモデルを創出するかを探求します。例えば、ブロックチェーン

による透明で安全な取引プロセスの確立、IoTによるスマートビルディングの実現、不動産ビッグデータを活用した市場分析や新たな取引の創出などが期待されます。

基調講演 未定

講演 谷山 智彦 野村総研未来創発センター デジタルアセット研究室長

講演 木村 幹夫 株式会社トラス代表取締役

ファシリテーター 未定

Tomohiko Taniyama

谷山 智彦

2002年慶應義塾大学総合政策学部卒業、2004年同大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了、2010年大阪大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。2004年に株式会社野村総合研究所に入社後、主に不動産・インフラ分野に関する調査研究及びコンサルティング業務に従事。2017年11月よりケネディクス株式会社との合併会社であるビットリアルティ株式会社の取締役役に就任し、2019年1月にオンライン不動産投資プラットフォームbitREALTYを立ち上げ、2020年3月より同社取締役副社長として不動産分野におけるデジタル戦略を推進し、2023年4月より現職。主な専門分野は、オルタナティブ資産に関わる金融経済学、ファイナンス理論、データサイエンス、デジタル戦略等。また、国土審議会土地政策分科会企画部会専門委員、内閣府「都市再生の推進に係る有識者ボード」委員、日本不動産金融工学会(JAREFE)副会長等の他、早稲田大学ビジネススクール等で非常勤講師を務め、著書や論文多数。他に、日本FP学会賞最優秀論文賞受賞(2010年)、情報処理推進機構(IPA)未踏クリエータ(2003年)等。



Mikio Kimura

木村 幹夫

株式会社トラス 代表取締役

慶應義塾大学経済学部卒・東京大学EMP修了・東京大学協力研究員。さくら銀行(現・三井住友銀行)にて富裕層開拓を推進。IT企画部門にてビッグデータを戦略的に活用した営業推進。社内情報システムの大部分をWebシステムで刷新

大幅なコスト削減と開発スピードアップを実現。さくら&住友銀行の合併進捗管理システムを3ヶ月で短期開発。2003年4月 株式会社トラス設立。

登記簿を集約したビッグデータを構築。【受賞歴】MIT(米国マサチューセッツ工科大学)コンテストで受賞実績

JAREFEコンテストにて、イノベーター賞受賞・MUFUGアクセラレーターにて準グランプリ受賞【その他】NY国連本部で不動産テックとSDGsについてキーノートスピーチ(2回)



第6回 グローバル不動産市場の動向とDX活用による不動産市場の新しい可能性

〈日時〉2024年6月18日 16:00～18:20

最終セッションでは、グローバル不動産市場の最新動向とデジタルトランスフォーメーション(DX)の進化が不動産市場にどのように影響を与えているかに焦点を当てます。基調講演者のマーク北林氏は、全米リアルター協会の元日本大使として、日米不動産市場に精通をしています。彼の視点から、グローバルな不動産市場の動向と、特に米国不動産市場でのDXの進展についての洞察が提供されます。これにより、国際的な不動産市場の理解を深めると共に、日本市場における新たなビジネスチャンスの創出に繋

げる事が可能となります。

市川 紘氏、Faciloの代表取締役CEOは、日米不動産業界におけるデジタル技術の比較や応用例や、テクノロジーを活用した新たな価値創出の可能性についての講演となります。不動産管理の自動化や効率化、顧客体験の向上などの観点から、DXが業界に与える影響を掘り下げます。クロージングスピーチを行う中川 雅之教授は、本会議を総括し、不動産DXの未来の方向性についての最終的な考察を提供します。

基調講演 マーク北林 全米リアルター協会元日本大使・米国ワシントン州シアトルリアルター

講演 市川 紘 Facilo 代表取締役 CEO

【クロージングスピーチ】中川 雅之 日本大学経済学部教授

ファシリテーター 未定

パネル・ディスカッション 中川・北林・市川 他

会議参加者 懇親会開催 ※終了後 懇親会開催 場所未定 ご参加者に会場通知

Mark M.Kitabayashi

マーク北林

基調講演

ウィンドミー不動産

2013年 ワシントン州リアルター協会会長

2017年・2018年 全米リアルター協会(NAR)日本大使、理事、

全米アジア不動産協会(AREAA)顧問

2019年 全米リアルター協会副会長(12地区担当)

公認国際不動産スペシャリスト(CIPS)インストラクター、

公認シニア不動産スペシャリスト(SRES)

ワシントン州最大手のウィンドミー不動産(Windermere Real Estate)に所属、住宅仲介を中心に18年間(トータル物件仲介数2000件以上)活動をしている。中古仲介、新築マーケティング、差押物件、投資物件などシアトル近郊の住宅不動産マーケットに精通しており30年間の国際マーケティング、国際取引の経験、アメリカ、日本、アジアとのネットワークを生かし国際不動産投資などのアドバイザーとしても活躍。2013年ワシントン州リアルター協会会長を経て、現全米リアルター協会(NAR)日本大使、理事、全米アジア不動産協会(AREAA)顧問などを兼任している。2019年には全米リアルター協会副会長(12地区担当)就任。

【分科会特別企画】

●「不動産業界メタバースツアー」with クラスタースタート

日本を代表するメタバース制作会社クラスタースタートの協力により不動産業界のメタバース活用事例として、実際に稼働するメタバース空間でのツアー開催いたします。大手電鉄会社や大手ディベロッパーが展開するメタバースビジネスを体験する事で3D空間の理解とビジネス創出の機会へ繋げるイベントとなります。2024年4月以降開催予定。

Ko Ichikawa

市川 紘

Facilo 最高経営責任者(CEO)

リクルートに入社後、SUUMOにて営業・プロダクト・経営企画マネージャー・新規事業開発部長として従事。2016年にサンフランシスコに渡り、シリコンバレーの不動産テック企業MovotoのCFOとして勤務。同社をアメリカ第4位の不動産ポータルサイトに成長させたのに加え、新規事業として300人規模のオンライン仲介会社を



立ち上げ、年間18億円の赤字の状態から黒字化に成功。2020年にはOJO LabsへのM&AによるEXITを実現。この実績を評価され、米国の「Top100Leaders in Real Estate and Construction」に選出された。2021年に帰国してFaciloを創業。

【スポンサー登壇企画】

●ビジネスプレゼンテーション

各回において本会議のスポンサーをいただいた企業のビジネスプレゼンテーションタイムがあります。(各5分程度の予定)